マイタイムライン作成地区別ガイドライン

〈原東部地区〉

原東部地区について

沼川が横断し、北部を高橋川が流れる原東部地区は低地が多く、地区の大半が浸水想定区域となっています。地区の東部では新中川の影響も想定されていますが、沼川・高橋川の影響が最も大きく、令和３年７月豪雨では、沼川・高橋川の氾濫を起点として床上浸水が多く発生し、甚大な被害をもたらしました。

❶ 該当する単位自治会

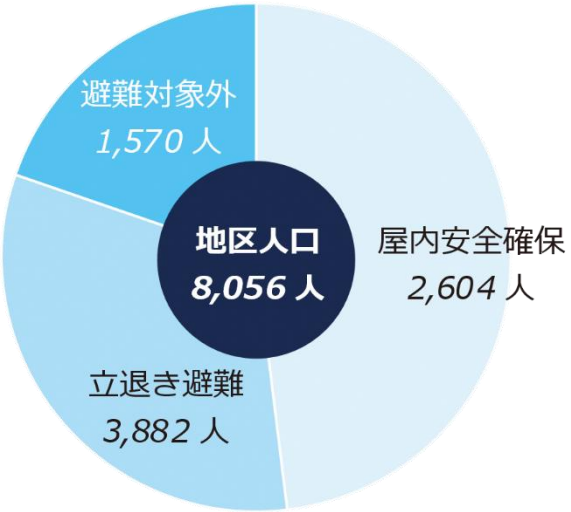
大塚新田、大塚本田、東町一区、東町二区、東町三区、市営原団地、県営原団地、公団中央、原東沖

❷ 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

沼川、高橋川、新中川

❸ 地区周辺の雨量

- 令和元年 10 月台風 19 号
  165.0mm（10/11～12 日）
- 令和３年７月豪雨
  382.0mm（7/1～3 日）
- 令和３年９月豪雨
  105.0mm（9/1～2 日）



図：地区の避難人口の割合

❹ 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、立退き避難が 2,604 人、屋内安全確保が 3,882 人、合計 6,486 人となっています。原東部地区の人口は 8,056 人のため、約８割の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です。

指定緊急避難場所として原東小学校を指定しています。

市が避難情報を発令したときに避難場所として開設します。

原東小学校は洪水浸水想定区域内に立地しているため、状況に応じて上層階への避難が必要です。

避難場所	延べ床面積（㎡）	※収容人数（人）
原東小学校	4,683	993

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

地区を横断する沼川と、沼川と合流する高橋川の影響により、床上浸水被害が頻発しています。

特に沼川・高橋川の川沿いは河岸浸食による家屋倒壊等が想定されています。

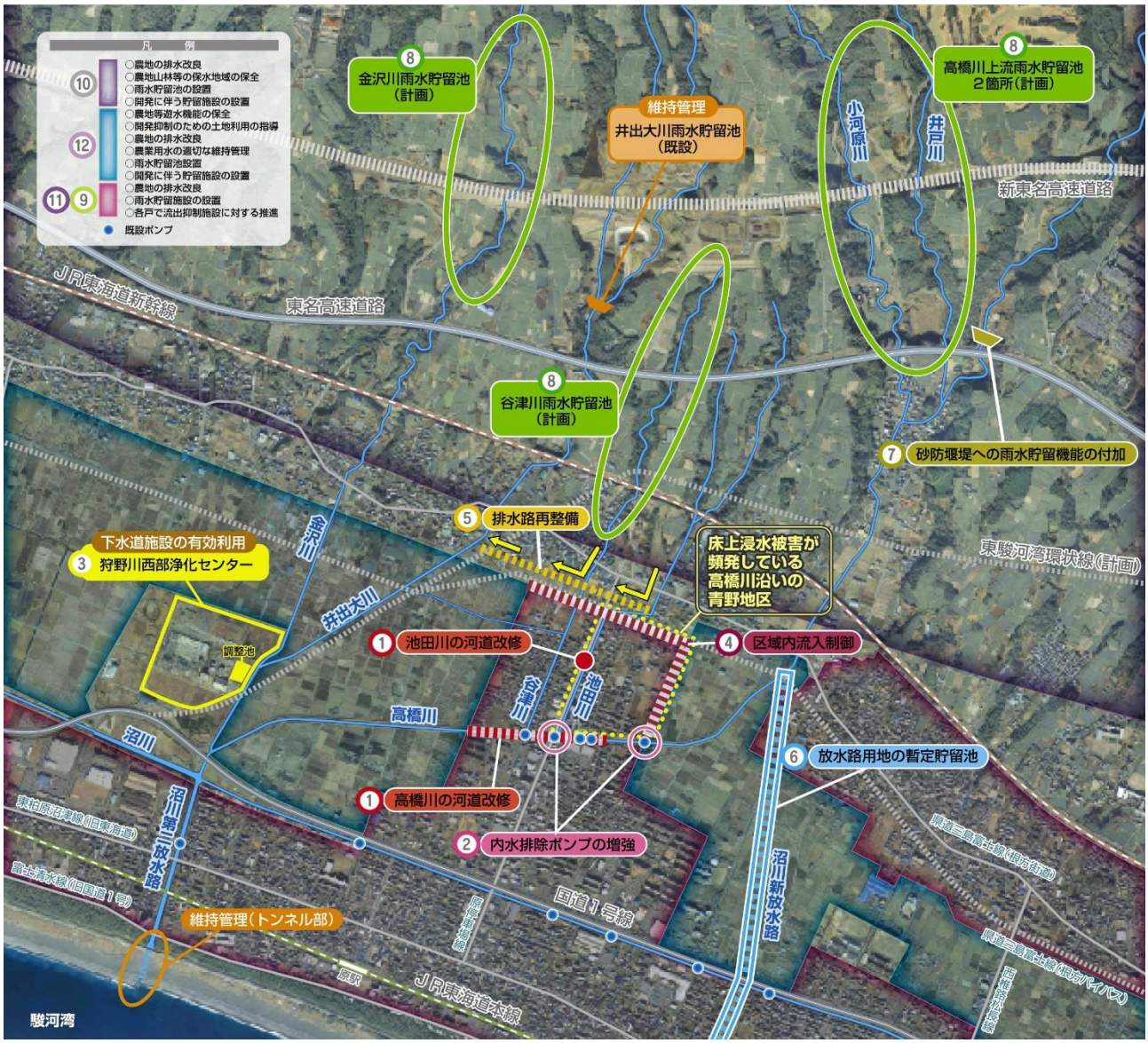
洪水による浸水深は１～３ｍで、浸水継続時間は概ね１日～３日となっています（いずれも想定最大規模。）。

沼川・高橋川の水位状況は静岡県サイポスレーダーやテレビの ｄ ボタン等から最新の情報を確認できます。

<table>
<tr><td>河川名称</td><td rowspan="2">警戒</td><td>沼川</td><td>高橋川</td><td>新中川</td><td rowspan="2">対応</td></tr>
<tr><td>観測所</td><td>レベル</td><td>今沢橋</td><td>青野</td><td>丸子橋</td></tr>
<tr><td>堤防高</td><td>５相当</td><td>－</td><td>4.2m</td><td>4.1m</td><td>自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難
避難行動要支援者がいる場合は２階以上など自宅の高い場所に避難
河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない</td></tr>
<tr><td>氾濫危険水位</td><td>４相当</td><td>－</td><td>3.0m</td><td>2.73m</td><td>避難要支援者は避難開始
健常者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する</td></tr>
<tr><td>避難判断水位</td><td>３相当</td><td>－</td><td>2.2m</td><td>1.8m</td><td>連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼
避難行動要支援者は避難を検討
市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難</td></tr>
<tr><td>氾濫注意水位</td><td rowspan="2">２相当</td><td>2.0m</td><td>1.8m</td><td>1.8m</td><td rowspan="2">情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始
非常持ち出し品の準備
避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、２階以上に住居がある人は２階以上へ移動
民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け</td></tr>
<tr><td>水防団待機水位</td><td>1.5m</td><td>1.5m</td><td>1.8m</td></tr>
</table>

❻ 沼川（高橋川）流域豪雨災害アクションプランより

平成 20 年に策定された沼川（高橋川）流域豪雨災害アクションプランに基づき、雨水貯留地や沼川新放水路の整備に向けた取り組みが進められています。



❼ 地区別カルテ

沼川は氾濫危険水位、避難判断水位の設定がありませんが、沼川は増水して水防団待機水位に到達してから急激に増水するため、低地帯の多い原東部地区は浸水被害が発生しやすい状況となっています。沼川と合流する高橋川が避難判断水位に到達した後に避難開始した場合、15 分で避難所に到達できるか検証したところ、避難場所まで距離があることもあり、健常者でも避難を完了できない箇所があります。（329 箇所の結節点のうち 104 箇所が避難困難の赤色を示しています。）健常者の方はもちろん、避難行動要支援者の方も避難判断水位に到達する前に避難を開始する必要があります。

避難の際は隣接する原東部地区、浮島地区も洪水浸水想定区域であるため、地区内の避難所だけでなく、安全で離れた地区の知人・友人宅を検討する必要があります。

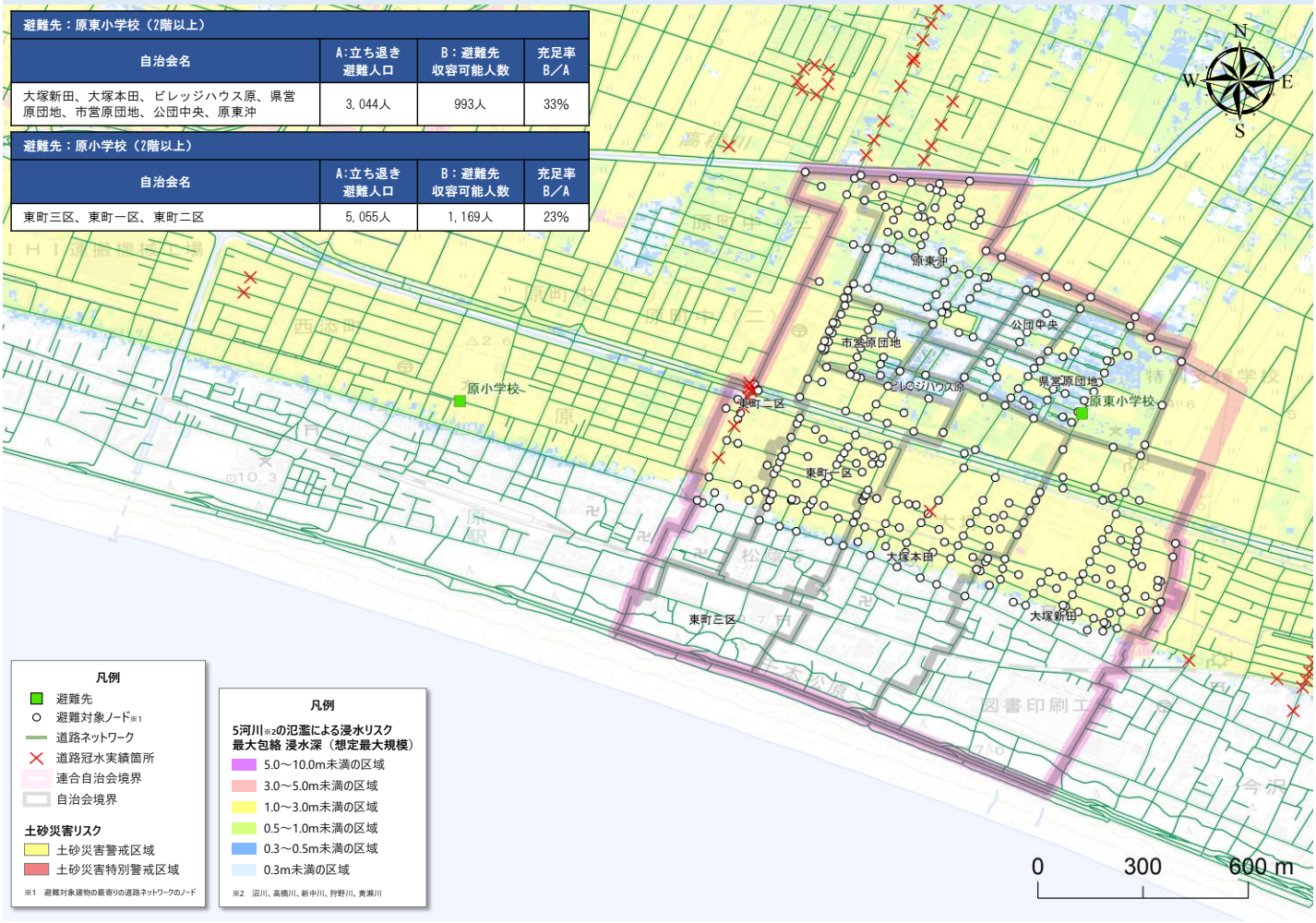
原東部地区　地区別洪水避難カルテ　基本情報

避難先：原東小学校（2階以上）

自治会名	A:立ち退き避難人口	B：避難先収容可能人数	充足率 B／A
大塚新田、大塚本田、ビレッジハウス原、県営原団地、市営原団地、公団中央、原東沖	3,044人	993人	33%

避難先：原小学校（2階以上）

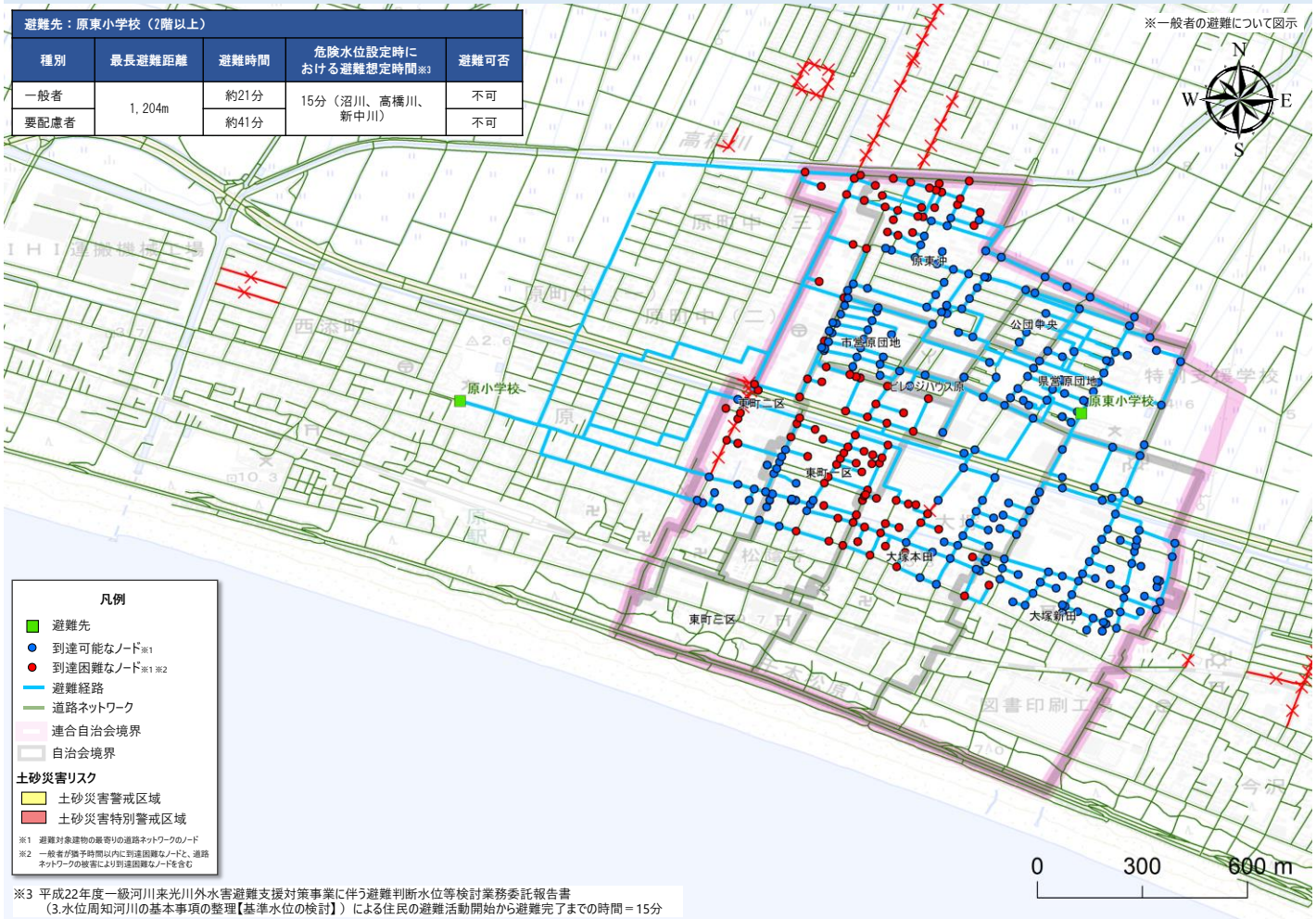
自治会名	A:立ち退き避難人口	B：避難先収容可能人数	充足率 B／A
東町三区、東町一区、東町二区	5,055人	1,169人	23%



原東部地区　地区別洪水避難カルテ　住民避難シミュレーション結果（冠水実績箇所：通行不可）

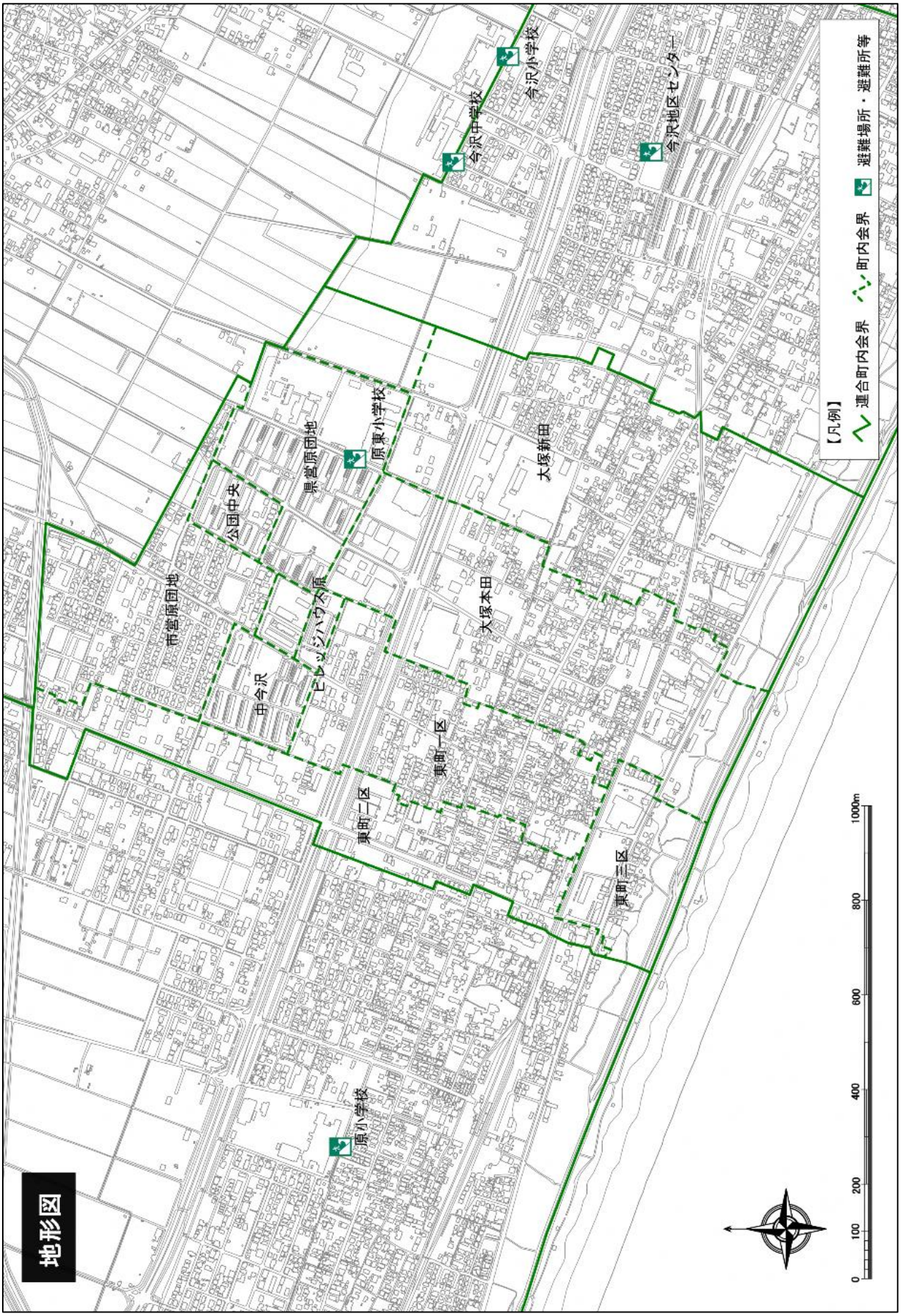
避難先：原東小学校（2階以上）

種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間※3	避難可否
一般者	1,204m	約21分	15分（沼川、高橋川、新中川）	不可
要配慮者		約41分		不可



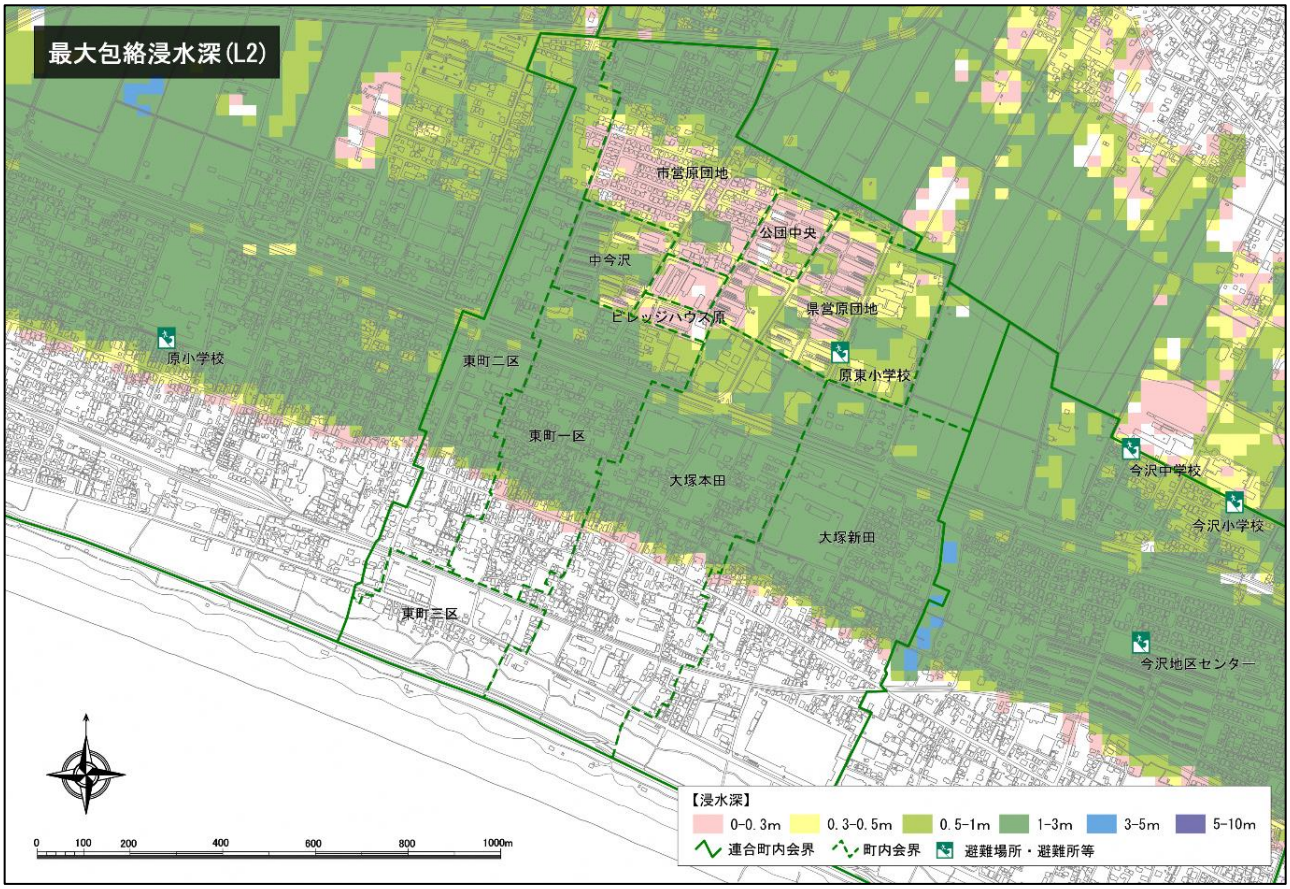
※3 平成22年度一級河川来光川外水害避難支援対策事業に伴う避難判断水位等検討業務委託報告書
（3.水位周知河川の基本事項の整理【基準水位の検討】）による住民の避難活動開始から避難完了までの時間＝15分

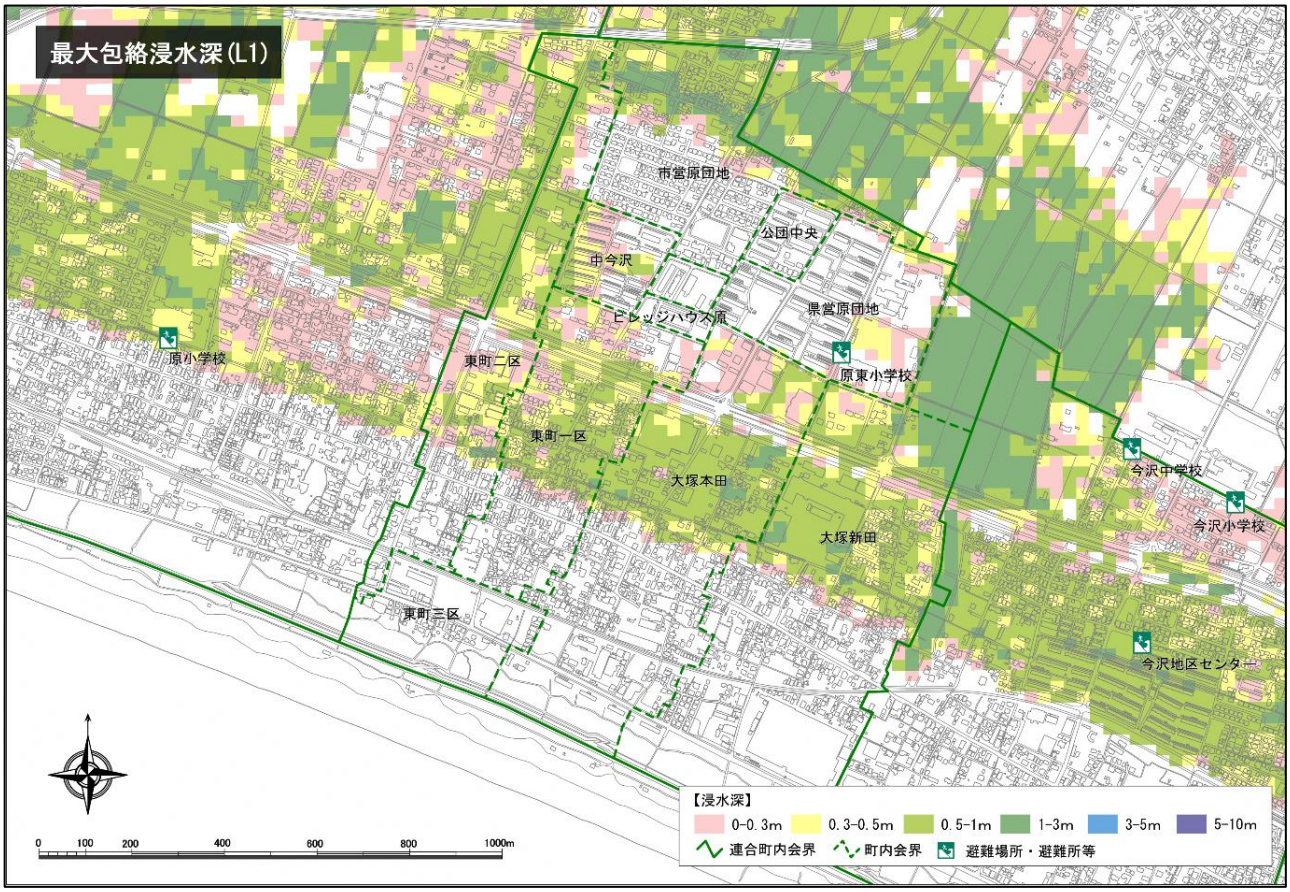
地形図で自宅の位置を確認してみよう



沼津市洪水対策方針 GIS データ「浸水想定（合成版）」より

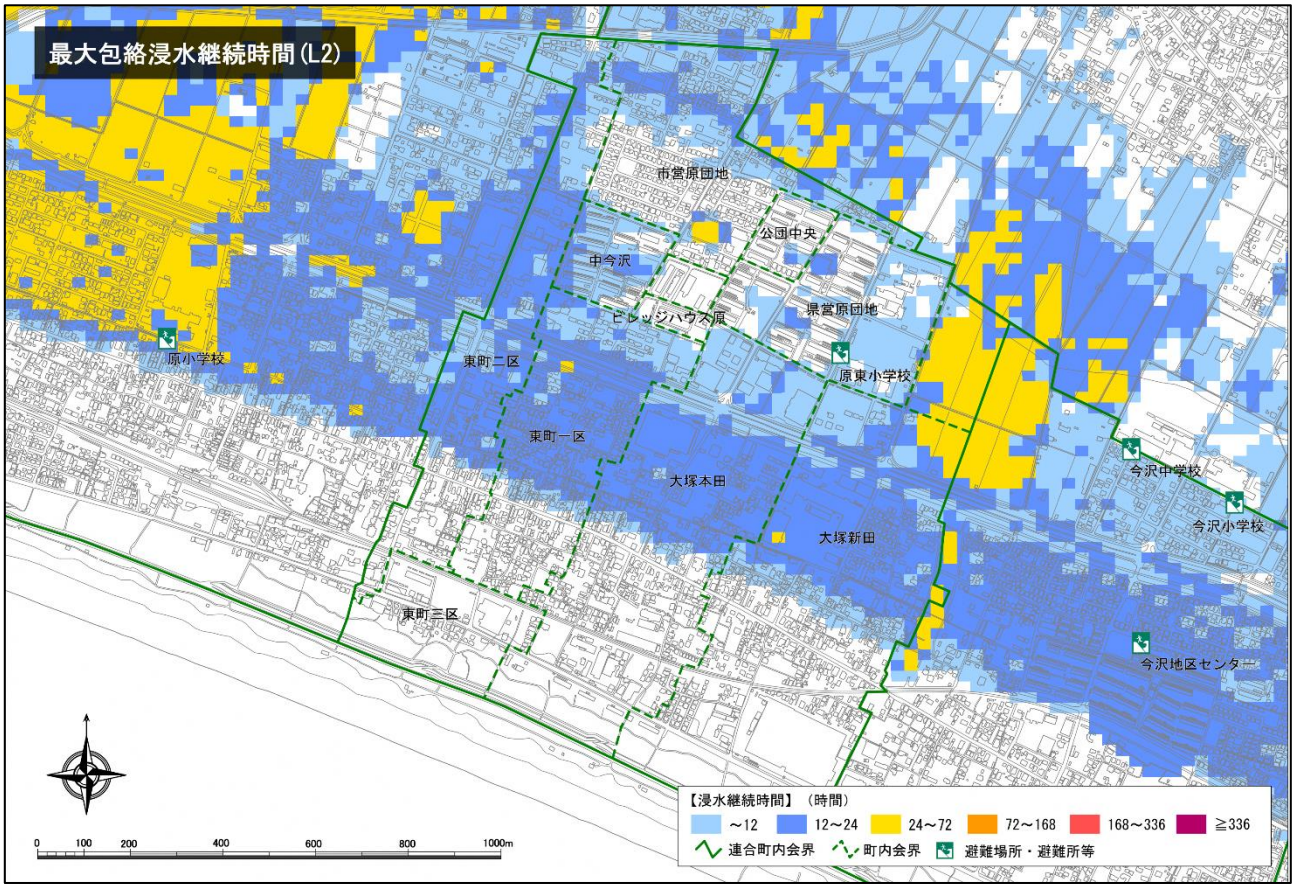
浸水範囲と浸水深を確認してみよう

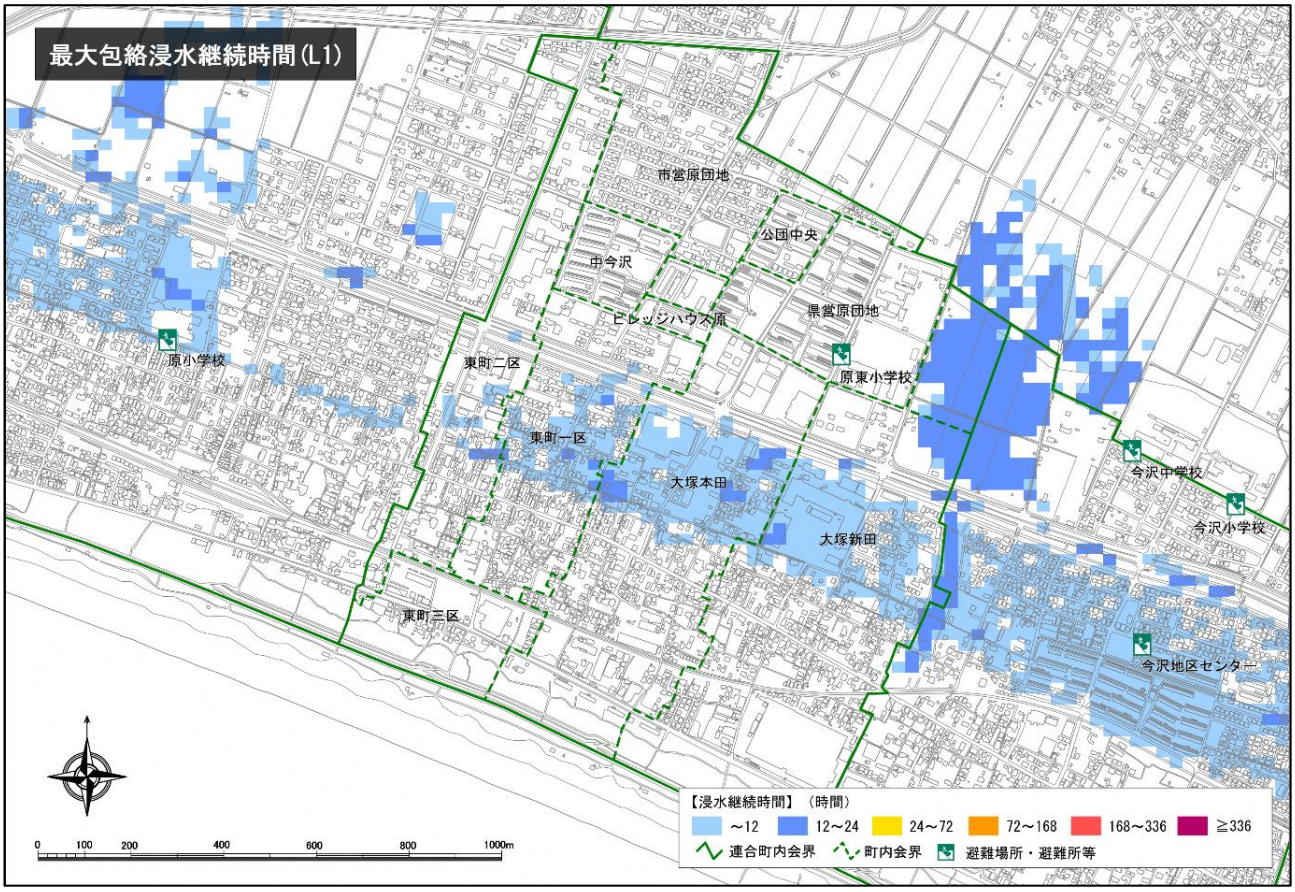




沼津市洪水対策方針 GIS データ「浸水想定（合成版）」より

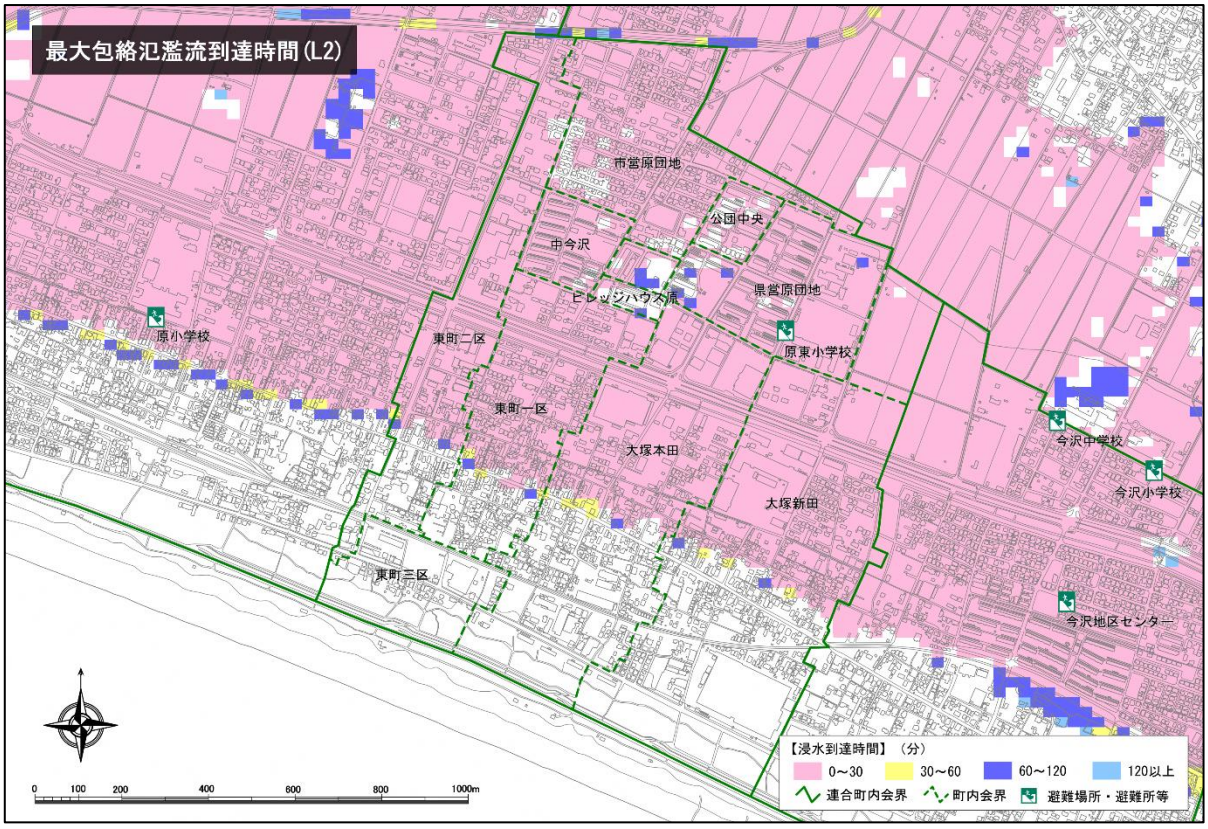
浸水継続時間を確認してみよう

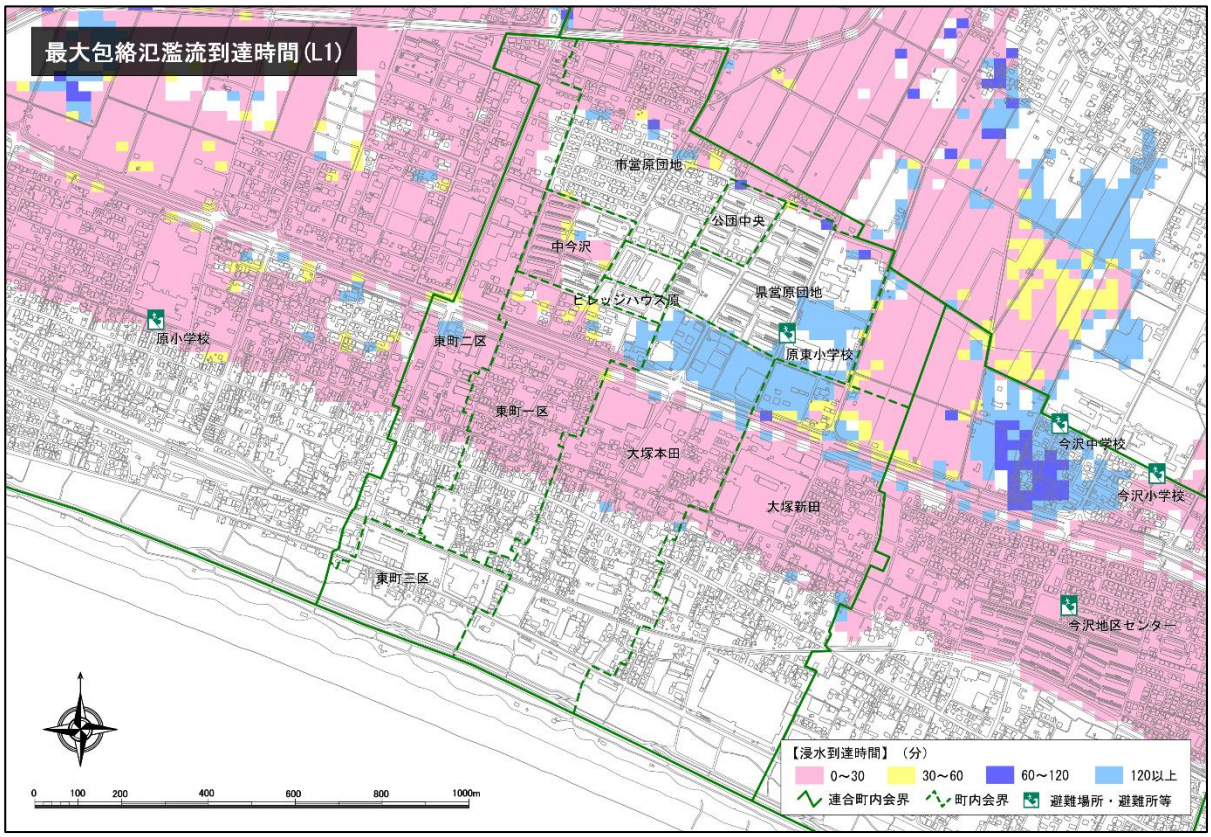




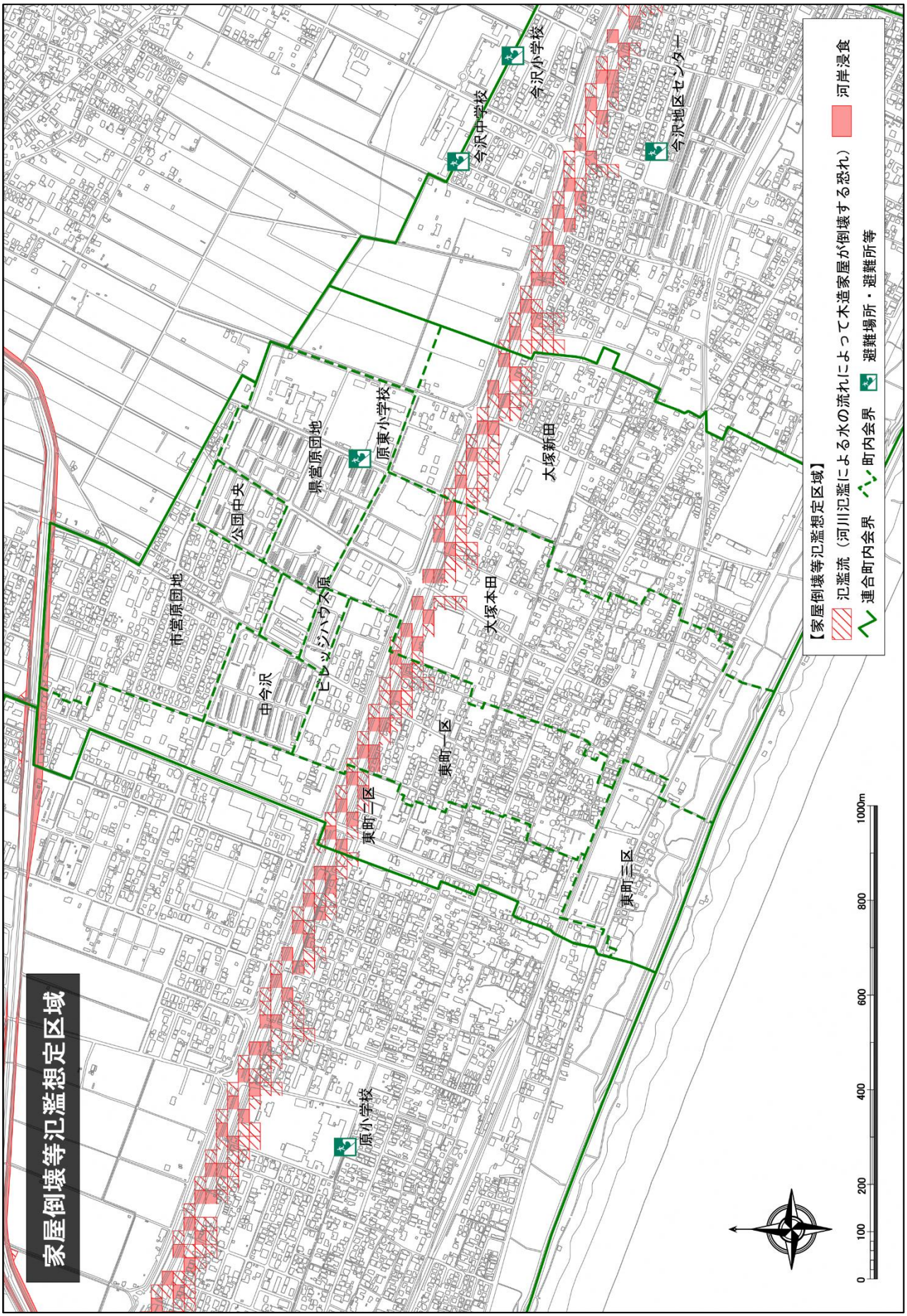
沼津市洪水対策方針 GIS データ「浸水想定（合成版）」より

氾濫流到達時間を確認してみよう――

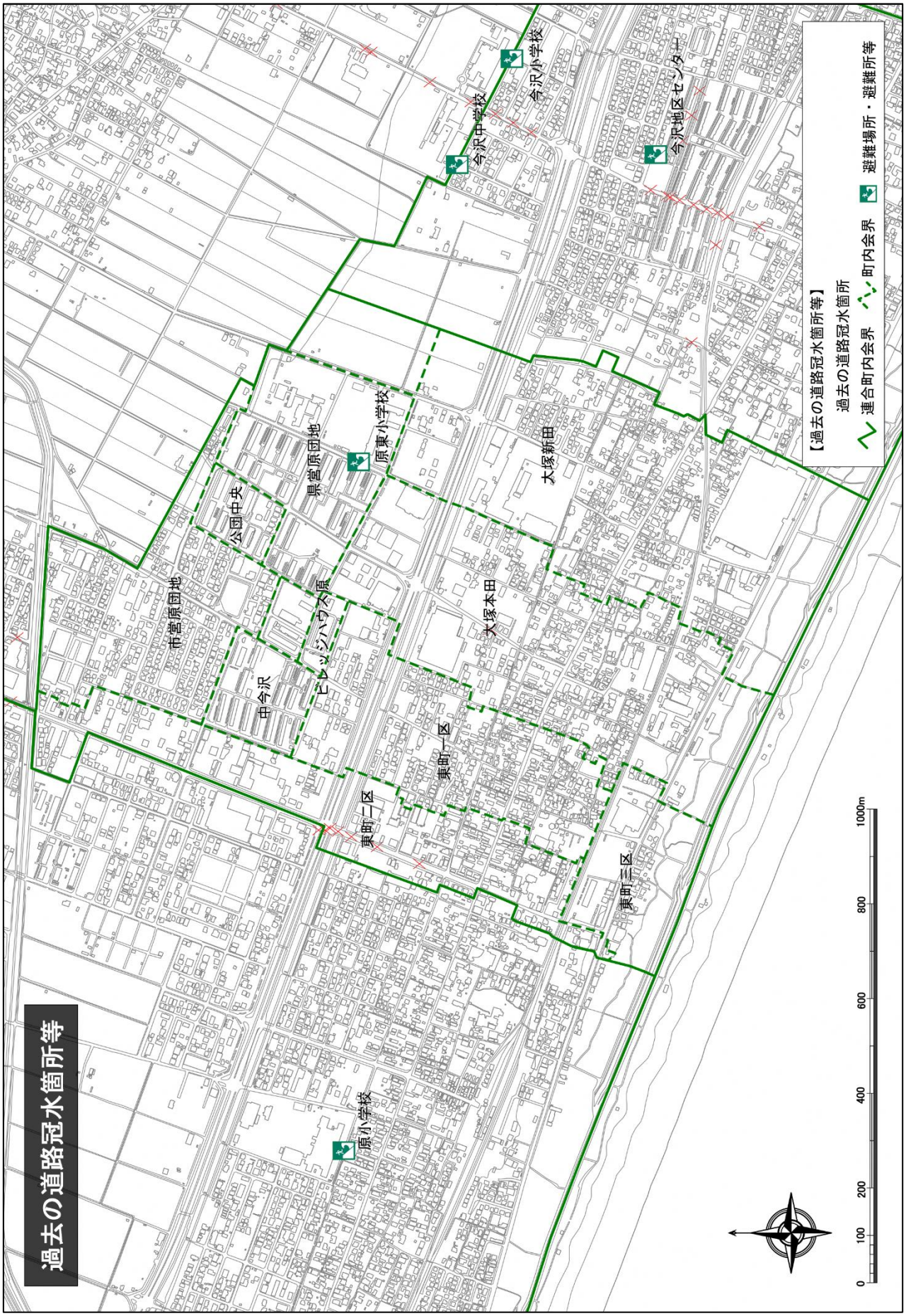
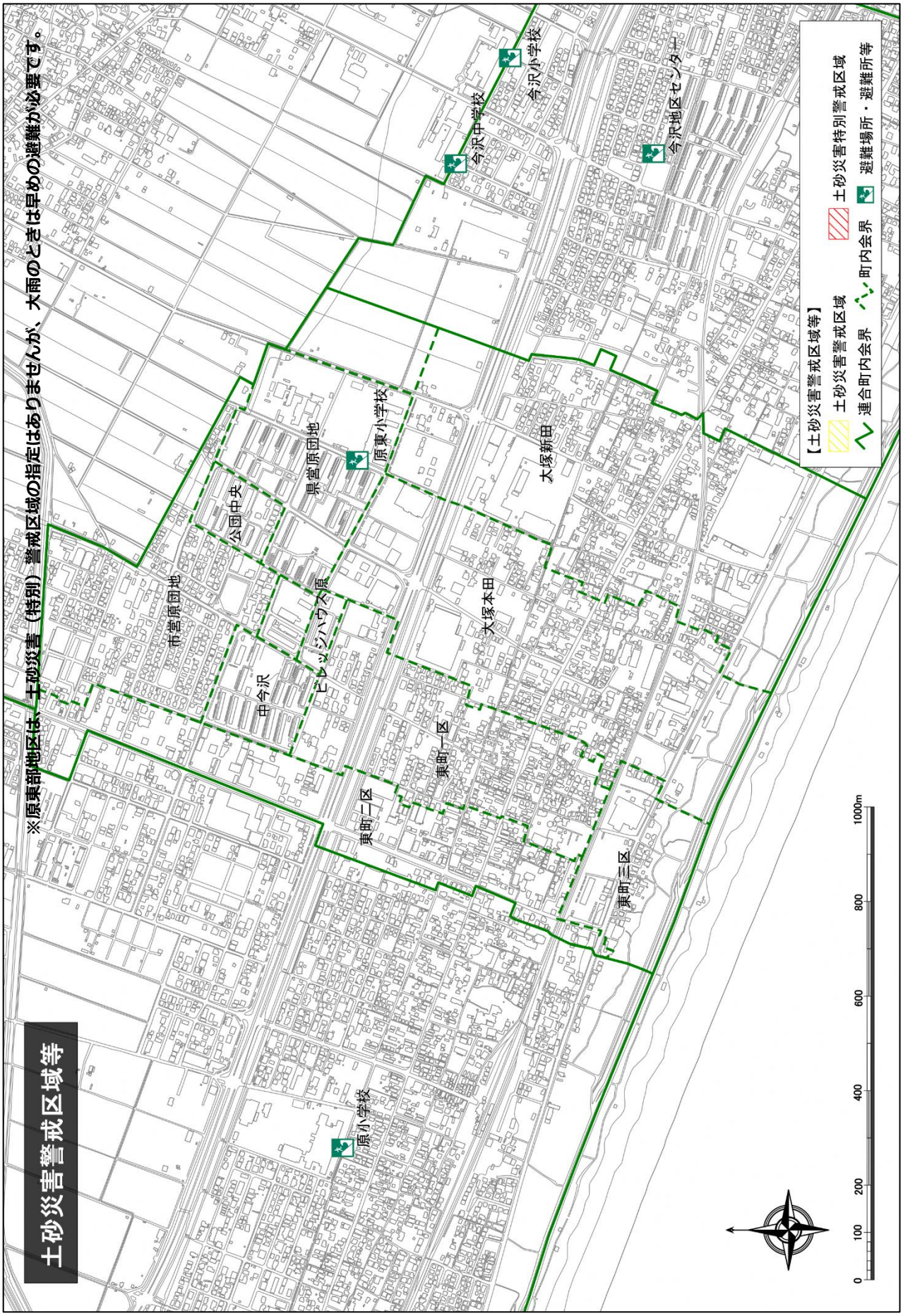




家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう



過去の浸水箇所を確認してみよう



土砂災害ハザードマップを確認してみよう